

# 地球環境に配慮したサービスの提供

## ～スーパーマーケットのみどり戦略～

### 【小売業の取組】

大分県内のスーパーマーケットなど小売・流通業界では、環境負荷軽減につながるさまざまな取組が行われています。

今回は、その1例として、大分市の株式会社トキハインダストリーを訪問取材した内容を紹介し



【地産地消野菜の販売イベント】

### 【サプライチェーンの連携】

県内に23店舗を展開する同社は、生産者、食品メーカー、大分県などと連携して、地産地消、健康に繋がる食の提案等を通じた、食育、環境負荷低減活動などを進めています。

また、GAP認証農産物を取り扱う「GAPパートナー」として、SDGsの目標達成に貢献する、国際水準GAPに取り組む農業者を応援しています。



お箸がすむ♪ なすのやみつき漬け    もちもち食感♪ 豆腐のチーズチヂミ    簡単！ ひき肉と玉ねぎの甘辛丼

【SNSを活用したレシピ提案】

### 【食品ロスの削減】

各店舗での食品の販売方法を、多めに並べて購入を待つ「売り減らし」から、少なめに並べて必要に応じて追加する「売り足し」方式に変更したり、消費期限が近い食品を集めた「もったいないコーナー」を設置するなどして、食品ロスの削減につなげています。

### 【資源の有効利用】

各店舗で発生する野菜くずや魚のアラなどの生ごみは、他のごみと完全に分別し、専門業者により堆肥化され、農業生産現場で利用されています。



【フードドライブの案内と回収BOX】

### 【さまざまな取組】

これらのほかにも、大分県産の農水産物を原料としたPB商品の販売、核となる店舗での定期的な地産地消イベントや食育イベントの開催、健康寿命日本一を目指す大分県と連携した野菜摂取推進PR、SNSを活用した料理レシピの提案、家庭で余った食品をフードバンクへ寄付するフードドライブなど、さまざまな取組を進めています。

さらに、有機農産物の販売店舗数も着実に増加しており、消費者の環境負荷低減に関する意識の高まりに貢献しています。



【フードドライブに集まった食品】